



パリワールニュースレター

ヒンディー語でパリワールは“家族”



拝啓、寒さもひとしお身にしみるようになりました。日頃は、パリワールの活動にご支援ご協力を賜り大変ありがとうございます。

東日本大震災により、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様、そのご家族様に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。



1日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。

さて、ニュースレター 2011年冬号をお届けします。パリワールが新インド教育職業訓練センターを支援して10年目に入りました。これもひとえに会員の皆様のご支援があつてのことと、心から感謝申し上げます。今回は、昨年度のインドスタディーツアーの報告、2011年のセンターの近況報告を記事にしました。

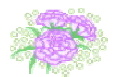
今年もインフルエンザが心配されていますので、皆様もくれぐれもお体には、お気をつけください。

敬具

パリワール事務局 平松



インドからナマステ! シーブ・プリ校長 からの手紙



3月11日の東日本大震災の後、新インド教育職業訓練センターのシーブ・プリ校長から以下のようなお手紙を頂きました。被災した日本のために、校長を始め、スタッフ、生徒とその保護者の方々が集まって、祈りを捧げてくださったそうです。支援してくださっている会員の皆様はもちろんのこと、被災地の方々のことを本当に心配してくださいました。皆さんの気持ちに感謝すると共に、私達ももっともっとがんばっていきましょうと思いました。
(以下は本文の日本語訳)



《 誓 い 》

4月26日火曜日の今日、ここ、ニューデリー（ダクシンプリ）、新インド職業訓練センターに、私たちは集いました。2011年3月11日、日本を襲った地震と津波によって、日本が受けた破壊と苦難に対して、私たちの苦痛と遺憾をあらわすために。日本人々のため、そして、危機を乗り越えるために、その偉大な国家のために、すべての宗教を代表して、私たちは祈りを捧げます。日本人々が、インドの貧しく、必要とする人たちを助けてくれていることを、私たちはいつも覚えています。この必要なときに、日本人たちと、心と魂で、私たちは共にいます。



インド スタディーツアー 報告

2010年12月22日～26日 5日間



12年ぶりにニューデリーを訪問した会員は、空港がとても綺麗になっていることに大変驚きました。以前の空港はとても汚く物乞いをする子供達もとても多かったのですが、昨年すべて改装され、電気も明るく、物乞いをする子供達はいませんでした（しかし、街中にはまだいました。）



私達はまず、新インド教育職業訓練センターを訪問しました。小学生コースの子供で小さい弟を連れて来ている子もいました。母親は上の階の主婦コースで縫裁の勉強をしています。卒業生の多くは、施設や縫製工場、ビューティサロンなどに就職し働いていて、確実に良い就職が来ています。3年前から始まった、主婦対象の特設職業訓練コースでは空いた時間を利用して学ぶことができ、貧しい地域の女性たちの生活向上に役立っています。



今回、センターで1年間学んだ主婦が特別に来て下さり、本人からお話を聞くことが出来ました。彼女は、センターで学んだことを活かして、自宅で縫製の注文を受け、収入を得ることができるようになったそうです。

学校から、私達の訪問の歓迎と、日本の支援に対する感謝のイベントが行われました。

シーブ・プリ校長は

「この学校のすべては、日本の皆様の支援で運営されています。」

と、私達に感謝の意を表明されました。

そして、パリワールからのお土産として、コアラのマーチ200個を子供達にプレゼントしました。（写真下）子供たちもとっても喜んでくれました。



センターのあるダクシナプリ地域では、政府から

食事の配給がされています。ニューデリーは近年とても発展し、地下鉄もすでに運営されていますし、路線延長の工事も進められており、高架道路や鉄道も工事が進められています。しかし、ダクシナプリのような貧しい地域はまだたくさんあります。余談ですが、後日あるテレビ番組で知りましたが、地下鉄工事の総監督は日本人女性で、怠け癖があるインド人男性を真面目に働かせるのに苦労しているそうです。

次の日は、NGO ギルド・オブ・サービスを訪問しました。



100 個の懐中電灯を手渡しました

この NGO は、Mrs. モヒニ・ギリ（元首相のご子息の奥様）が、戦後未亡人と貧しい子供達のために始めた NGO です。

この施設では、未亡人になり家族から家を出された人たちに衣食住を無料で提供しています。

インドの社会では、夫が亡くな

ったら、運の悪い人と思われ、地域でのけ者にされたり、居場所を失ったりするので、そのような不幸な人を救うために、この施設が運営されています。Mrs. モヒニ・ギリは、女性大臣を務められたこともあり、政府の仕事をしていました。50年間続けてきた奉仕活動は政府から表彰され、73歳になられた現在も現役で活動されています。

この日はクリスマスイブでしたので、私達から「赤鼻のトナカイ」を合唱してプレゼントしました。

そして、入居者の方々に、おりがみで折り鶴の折り方を教えてあげました。また、インドでは停電が多いので懐中電灯（100個）を寄付しました。



シーブ・プリ校長が、私達をご自宅にご招待してくださいました。

シーブ・プリ校長のご主人は、最高裁判所の書記をされていた方です。実の二人の娘さんはアメリカで医者と教授をされています。近くに住む娘さん（写真左端）は、孤児だった幼いころに、ご夫妻が養女にされ、高い教育を受けさせてあげ、現在は政府関係の仕事をしています。すでに結婚され、娘さん（写真中央）が一人おられます。赤い服を着た男の子（写真右端）も孤児でしたが、養子にされました。年齢は不明のようです。シーブ・プリ校長が、色々なお話をされていた中で、「神様の為に、奉仕はまず自分の家庭から」と、ご自分のモットーをお話されました。実際、社会への奉仕だけでなく、家庭の中でも奉仕をされておられ感銘を受けました。また、「日本からの支援がなければ私は何も出来ません。本当に日本の皆様に感謝しています」と、改めて話されました。

このツアーの合間に、世界遺産の、タージマハル、クッタブミナール、アグラ城なども観光しました。

ツアー参加者からは、「インドには本当に素晴らしい世界遺産が沢山あり、IT 企業が発展しているのに、貧富の差を目の当たりにして、この新インド教育職業訓練センターの重要性を感じました。」と感想を頂きました。

（報告者：木水）



校長先生 ご主人

娘

孫

息子





新インド教育職業訓練センターだより

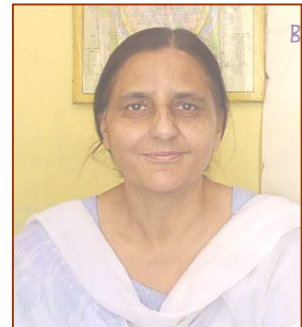


2011 年 10 月にシーブ・プリ校長より近況が届きました。

新インド教育職業訓練センターだより

～小学校教育～

このプログラムは、幼稚園から 5 年生まで、スラム地域の小学校に入学できなかった子供達が、登録されています。子供達は、政府の学校用の概要ごとに、正式な教育として受けています。5 年生の後、通常の政府の学校へ入学の許可が得られます。現在 50 名の子供達が、しっかりした運営と資格あるスタッフの助けで学んでおり、結果は素晴らしく多くの生徒がこの数年間に卒業しました。



シーブ・プリ校長

～職業訓練コース～

少女達に自信と自尊心を構築することを目標とすると同時に、将来、自立していけるように 4 種類の職業訓練を行っています。



ファッションデザイン 1 年間、ビューティシアン & 美容 1 年間、縫製 1 年間、コンピュータ訓練 6 ヶ月 / 1 年間試験はデリー政府によって行われます。合格すれば履修証を手に入れることが出来ます。現在 65 名の生徒達が学んでおり、今年の試験結果は 100% 合格でした。

コンピュータコースは、1 年半前に始まり、学びに

来ている生徒からは非常に感謝されています。

現在、コンピュータクラスには、15 名がいます。5 名で 1 組です。大学の、技術訓練コースにおいても導入されている、コンピュータコース(ウェブデザイン等)と同じ設備を持っています。

～主婦の短期コース～

このコースには、縫製、ブロックペイント & フリーハンドペイント、針仕事 & 刺繍があり、職業訓練を教える先生の中には、新インド職業訓練センターを卒業した生徒が 3 人います。彼女達はデリー政府によって承認され、任命されています。



お知らせ パリワールのホームページも作成していますので、よろしかったら覗いてください。

ニュースレターの過去号もダウンロード (PDF 版) できます。

【<http://pariwar.web.fc2.com/>】 (旧アドレスは、サーバーの都合で使えなくなりました)

「インドの子供たちを支援する会パリワール」で検索できます。

支援金口座

パリワール支援金口座【郵便局】口座名 **パリワール** 記号 **15490** 番号 **28961881**

[残高不足など、何らかの理由で会費が引き落とせなかった方はこちらへご入金ください]

年会費 3600 円 特別支援金も受け付けています。

